土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般県道　三次江津線　道路改良事業に伴う地質調査設計業務委託(単独)

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象　道路 構造物基礎

ボーリング名	R1-No.2	調査位置	三次市三次町～粟屋町			北緯	34° 48′ 35.8″
発注機関	広島県北部建設事務所			調査期間	2019年 11月 25日 ～ 2019年 12月 16日	東経	132° 50′ 28.0″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	T.P. 145.32m	角度	180° 上 90° 下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 東邦 D1
総削孔長	12.00m								エンジン ヤンマー 110D　ポンプ 東邦 BG 3B

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	記事
1			砂礫		褐灰	rd3		完新世	砂礫。礫：基質＝約4：6～6：4。礫は、φ2～80mm以上。礫質は安山岩～粗砂。
2									
3	143.27	3.05	石質ごり砂礫		褐灰	rd5			石質ごり砂礫。礫：基質＝約6：4。礫は、φ2～150mm以上。基質は細～中砂。3.15m付近　φ150mm程度安山岩礫。
4	141.32	4.00	砂礫		褐灰	rd4			砂礫。礫：基質＝約4：6～6：4。礫は、φ2～50mm以上。基質は細～中砂
5	140.22	5.10	玉石混じり砂礫		褐灰	rd5		更新世	玉石混じり砂礫。礫：基質＝約8：2。礫は、φ2～270mm以上。基質は細～中砂。5.25m付近　φ270mmの安山岩礫。5.85m付近　φ250mmの安山岩礫。
6	139.17	6.15	砂岩		黒褐色	rd3		新第三紀	砂岩風化部。細砂状。DL～DH級。
	138.02	6.30	砂岩		暗灰	rd5			砂岩地化部。稀砂。無粒状コア。軟質。CL級。
	138.82	6.50	砂岩		暗灰				砂岩新鮮部。稀砂。無～微粒状。軟質。CL～CM級。最大コア長55cm。
7	136.96	7.36	頁岩		黒				頁岩新鮮部。稀～粗砂状。無粒状。多い。礫径は、φ2～45mm。基質はシルト質。硬質。軟質。CL級。最大コア長19cm。6.6～7.6m　全体的に粘土化し、軟質化。
	136.42	7.90	安山岩		青灰			白亜紀	安山岩風化部。岩片状コア。割れ目が多い。割れ目周辺が風化し、粘土化。軟質。CL級。
8	135.32	8.80	安山岩		青灰				安山岩新鮮部。塊状コア。割れ目が多い。割れ目周辺が風化し、粘土化。硬質。CL～CM級。最大コア長18cm。
9									
10									
11									
12	133.32	12.00							
13									
14									

孔内水位／測定出来

標準貫入試験

深度－N値図（0 10 20 30 40 50）

N値	深度 (m)	100mmごとの打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
15	3.45～3.60	5	5	4	15/300		
9	3.60～3.75	5	3	4	16/300		
500	3.75～3.80	50/50			50/50	50	
37	4.45～4.60	12	15	10	37/300		
1300	4.60～4.65	50/10			50/10	10	
95	6.15～6.30	8	25	25/70	50/220	250	

試料採取

深度 (m)	試料番号	採取方法

原位置試験

室内試験

削孔月日
11/27
11/28
12/2
12/4
12/5
12/6
12/9